

人口と世帯

人口	400,901人
男	198,782人
女	202,119人
(前月より317人増)	
世帯	162,985世帯
(前月より242世帯増)	
(15年12月1日現在)	

第1385号

発行・町田市 編集・企画部広報広聴課  
〒194-8520 東京都町田市中町1-20-23  
市役所の代表電話042・722・3111  
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)  
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>



# 賀春

市指定無形民俗文化財 金井獅子舞 八幡神社(金井町 2003年9月15日撮影)

## 次代を担う 子育て支援に重点



町田市長 寺田和雄

新年明けましておめでとございます。  
平成十六年、二〇〇四年が、市民のみなさまにとりまして、市政にとつても、いい年でありますことを、心からお祈りいたします。

永い間の不況が続く、そのために企業や家庭、それに自治体もまた厳しい局面に立たされています。高齢、少子化とともにリストラなどで心ならずも職場を離れた方、生活保護を求める人たちもますます増大しております。国も自治体も、税収の減少で四苦八苦、新しい施策の展開どころか、従来からの施策やサービスをどうやって守られるかが問われています。

加えて、イラクの情勢など、国際的な紛争の多発は、人々の心を暗くさせています。また、国内の犯罪も増加の一途を辿り、「安心・安全」が大きな政治的テーマになってきました。

新年早々、暗く、つらい話して恐縮するばかりですが、これが正直な昨今の状況です。それでも、わが町田市においては、昨年、市制四十五周年を迎え、人口もいよいよ四十万人台を突破しました。さまざま困難はありますが、「住んでよかったと云える町田市」を目指して頑張つてまいります。

町田市の基本計画は新たな計画がスタートします。まちづくり面では、鶴川、南町田、相原など市外縁部の整備を中心に進めてまいります。また、北部丘陵(小野路、小山田地区)の自然を生かしたまちづくり基本構想の検討を進めてまいります。

子育て支援については、保育園、学童保育クラブの増設による待機児解消をはかるとともに、待望の鶴川子どもセンターの建設、また「子どもマスタープラン」の策定を進め、子どもたちが元気ですくすくと成長できる環境をつくってまいります。高齢者対策としては、いよいよ木曾森野高齢者福祉施設の建設が始まり、平成十七年度開設を目指します。さらに、高齢者や障がい者計画を統合した一体的な地域福祉計画の策定も進めます。

教育面では、旧忠生四小の校舎を利用した町田市教育界待望の「教育センター」の開設、小山ヶ丘小学校の建設(平成十七年開校予定)、それに中学校給食の実施に向けた準備着手、文学館建設の準備(旧公民館利用)などを進めてまいります。

限られた財源を有効に生かしながら、なおいつそう行政改革を進め、市民のみなさまのご期待に応えてまいります。今年一年、今までと同様、ご理解とご協力をお願いし、新年のあいさつといたします。